

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	講師	氏名	堤 圭史郎
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2008年、大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。愛知文教大学・大阪樟蔭女子大学・金城学院大学・神戸女学院大学・佛教大学・龍谷大学等非常勤講師、大阪市立大学都市文化研究センター研究員、同大学都市研究プラザ GCOE 特別研究員に従事。2009年、大阪市立大学において博士（文学）を取得。2010年4月より本学に着任。

主な研究分野：都市貧困問題の社会学的研究・地域問題研究。とりわけホームレスの人々をめぐる様々な「問題」に関心をもち、研究を続けてきた。具体的には、大阪市や西日本の地方都市をフィールドに、ホームレスの人々が生み出されるメカニズム、「ホームレス問題」に関する都市住民意識、行政と NPO・ボランティアグループによるホームレス支援の現状と課題などについて、量的・質的調査によりアプローチし、日本社会における「排除」と「包摂」の動態と現在のありようについて考察を続けてきた。

また近年は、ひとり親世帯、在日ブラジル人若年層の就業と生活に関する研究、GIS（地理情報システム）を用いた貧困の空間的把握とその社会学的方法論への応用についても研究している。

社会的諸問題について地域社会の成り立ちと仕組みに基づいて捉えることに重きを置いている。個々の地域の産業構造の変動や地域形成過程に目配りし、ホームレスの人々が析出されるメカニズムを具体的に捉えることは、これまで地域社会の中で潜在化してきたホームレス状態に陥るおそれのある人々を地域社会の枠の中で捉えることに他ならない。もって、ローカルな知見が全体社会の地平においていかなる意味をもつのかを、両者を擦り合わせながら検討を続けていきたい。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

堤圭史郎、「ホームレス・スタディーズへの招待」, 青木秀男編『ホームレス・スタディーズー排除と包摂のリアリティ』, ミネルヴァ書房, pp. 1-29, 2010.

妻木進吾・堤圭史郎, 「家族規範とホームレスー扶助か桎梏か」, 青木秀男編『ホームレス・スタディーズー排除と包摂のリアリティ』, ミネルヴァ書房, pp. 169-201, 2010.

堤圭史郎, 「ホームレスの人々への類型的な理解と『孤立』のリアリティー『問題づくり』をめぐる」『ホームレスと社会』創刊号, 明石書店, pp. 50-57, 2009.

②その他最近の業績

〈国際会議での報告〉

Tsutsumi, Keishiro, “Invisible Homelessness in Osaka: New Phases of Japanese Homeless Issue in Globalization,” ‘The 2nd International Conference on Locality and Humanities--Locality, Beyond the border of Space and Cognition,’ Pusan National University, June 18 2010.

〈学会報告〉

堤圭史郎, 「『生きづらさ』に向き合うホームレス支援」日本社会病理学会第 27 回大会, 大正大学, 2011 年 10 月.

堤圭史郎, 「『善意』の消費による『官民協同』ーX 県 Y 市の『ホームレス対策』を事例に」, 西日本社会学会第 68 回大会, 福岡県立大学, 2010 年 5 月.

西田芳正・堤圭史郎・妻木進吾, 「母子家庭調査報告ー階層差の実態と研究の視点」貧困研究会第 2 回大会, 大阪市立大学, 2009 年 10 月.

〈研究会報告〉

堤圭史郎, 「大阪の貧困と排除: 若年不安定就労・不安定住居者聞き取り調査から」, 京都大学グローバルCOEプログラム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」研究会「貧困とジェンダー格差の比較分析」, 京都大学文学部, 2010年2月5日.

堤圭史郎, 『「善意」の消費による『官民協同』 - 地方都市 Y 市の『ホームレス対策』を事例に』, 関西学院大学大学院 GP「社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育 - ソシオリテラシーの涵養」共同研究「東アジアのストリーットの現在」第7回研究会「ストリートと善意」, TKP 大阪梅田ビジネスセンター・カンファレンス, 2009年11月7日.

〈書評〉

堤圭史郎, 「書評 西澤晃彦著『貧者の領域 誰が排除されているのか』河出書房新社『日本都市社会学会年報』29, pp. 198-201, 2011.

堤圭史郎, 「書評 垣田裕介著『地方都市のホームレス 実態と支援策』法律文化社『貧困研究』7, pp. 131-132, 2011.

〈報告書〉

堤圭史郎, 「第1章 家族の状況」「終章 今後の課題」, グリーンコープ生活協同組合ふくおか・グリーンコープ生活再生相談室『生活再生貸付利用者の生活再生支援(家計管理指導等)に関する調査事業報告書』, pp. 15-19, 41-43, 2011. (厚生労働省平成22年度社会福祉推進事業)

〈その他〉

日本社会病理学会第26回大会公開シンポジウム「現代社会の生きにくさを社会病理学はどのように捉えるか」における討論者(2010年9月25日)。

③過去の主要業績

堤圭史郎, 「『ネットカフェ生活者』の析出に関する生育家族からの考察」, 特定非営利活動法人釜ヶ崎支援機構・大阪市立大学大学院創造都市研究科『「若年不安定就労・不安定住居者聞き取り調査」報告書』, pp. 53-65, 2008.

堤圭史郎, 「『善意』に支えられた『ホームレス支援』」『市大社会学』7, pp. 46-61, 大阪市立大学社会学研究会, 2006.

堤圭史郎, 「大阪のインナーリングエリア - その空間分布と動向」『市政研究』第150号, pp. 128-136, 2006.

3. 外部研究資金

文部科学省、科学研究費補助金(基盤研究C)『貧困・不安定家族出身者および児童福祉施設経験者の排除型移行過程と社会的支援』、平成21年度～23年度、研究分担者(研究代表者: 西田芳正・大阪府立大学)。

文部科学省、科学研究費補助金(基盤研究B)『移民の流入と統合過程 - 在日韓国・朝鮮人と日系ブラジル人の世代間生活史の比較分析』、平成21年度～23年度、研究分担者(研究代表者: 稲月正・北九州市立大学)。

文部科学省、科学研究費補助金(基盤研究C)『社会的排除地域の変容と包摂の試み - 都市型部落と公営住宅の比較研究』、平成23年度～25年度、研究分担者(研究代表者: 妻木進吾・部落解放・人権研究所)。

4. 受賞

第7回日本都市社会学会賞(磯村記念賞)を受賞(青木秀男編『ホームレス・スタディーズ - 排除と包摂のリアリティ』)

5. 所属学会

日本社会学会、関西社会学会、日本社会病理学会、日本都市社会学会、地域社会学会、西

日本社会学会、ソシオロジ同人、貧困研究会

6. 担当授業科目

社会学史Ⅰ・2単位・1年・前期、社会病理学・2単位・2年・前期、地域社会研究Ⅰ・1単位・2年・前期、地域社会研究Ⅱ・1単位・2年・後期、社会調査実習・2単位・3年・通年、公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期、社会変動と社会問題・2単位・3年・後期、卒業論文・6単位・4年・通年、日本事情B・留学生・前期（分担）

7. 社会貢献活動

田川市社会教育委員

特定非営利活動法人北九州ホームレス支援機構「若年被保護者への伴走型就労支援事業」
（厚生労働省平成23年度社会福祉推進事業）検討委員

8. 学外講義・講演

福岡県立大学公開講座2011「地域の課題解決に向けて」にて講演（題目「“生きづらさ”を共に支える」）

9. 附属研究所の活動等

同上